

平成27年度みやぎっ子ルルブル推進優良活動 表彰団体活動紹介

【保育所・幼稚園部門】

1 登米市立北方幼稚園	
取組名	心身ともにたくましい幼児の育成
<p><取組の内容></p> <p>集会を通して「はやね、はやおき、あさごはん」を奨励しているほか、二十日大根やサツマイモなどの野菜を栽培し、収穫物を材料としてカレーや豚汁などを作って園児全員で会食しています。また、「げんきつきタイム」は「みんなで走る時間」と理解させ、取り組んでいます。</p> <p><取組の成果></p> <p>ほとんどの幼児が朝食を食べて登園しているほか、野菜が苦手な園児も、幼稚園で収穫した野菜は喜んで食べるようになっていました。また、外遊びを好む幼児が増え、より多くの幼児が喜んで体を動かして遊ぶようになり、できないことにも挑戦しようとする姿が見られるようになっていました。</p>	
2 大崎市池月保育所 3 大崎市岩出山保育所 4 大崎市岩出山保育所真山分園	
取組名	いきいき 笑顔あふれる“大崎っ子”
<p><取組の内容></p> <p>大崎市のご当地キャラ「パタ崎さん」と、“はやね・はやおき・あさごはん”のお約束を実施しているほか、基本的な生活習慣のパンフレットを利用し、個人面談の機会などで就寝時間などを個別に指導しています。</p> <p>野菜を栽培し、収穫やクッキングをしているほか、給食室や給食展示の見学を実施しています。また、栄養士会から絵本などを借用し、うんこダスマンの絵本の読み聞かせや、うんこダスマン体操をしています。</p> <p>地域行事の「政宗公まつり」にて、保育所3施設合同で地域の伝統文化である「荒馬」を披露しています。また、大崎市岩出山保育所では、地域のお茶の先生をお招きし、地域の菓子店に季節の菓子を作成してもらい、年に7回お茶会を実施しています。</p> <p><取組の成果></p> <p>親子で早く寝るように努力した様子が伺えるようになり、「今度どんなクッキングするの?」「お母さんに作り方を教えてほしい」等の声が聞かれるなど、食に関する意欲的な姿が見られるようになりました。また、うんこダスマンの絵本や体操に興味を持ち、毎日うんちする子が増えたり、家庭での声かけの協力が得られるようになったりしました。</p> <p>子どもたちが色々な体験に対し、期待を持って取り組み、「またしたい」「お家でもしてみる」などの声が聞かれるようになったほか、地域の方々や祖父母に対してのやさしさや年上の子どもたちへのあこがれ、また、年下の子どもたちに手を差し伸べる姿等が見られるようになりました。</p>	

【小学校・中学校部門】

1 仙台市立将監小学校	
取組名	「仙台市健やかな体の育成プラン」に基づく取組の推進
<p><取組の内容></p> <p>夏期休業、冬期休業明けの1週間を振り返らせる「元気カード」の取組や、「もくもくタイムとして」、放送委員会が5分間の音楽を流すとともに、咀嚼の効果8項目をアナウンスしています。また、全校外遊びデーとして、週に1回なわとびや一輪車、竹馬などを実施したり、「体育朝会」で持久走に取り組むなどしました。</p> <p><取組の成果></p> <p>就寝時刻などの記録を付け、親と一緒に確認することで、「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを意識し、守ろうとする気持ちを強く持てるようになりました。また、よく噛んで食べることの大切さなどを含めて、食事のマナーを向上することができたほか、休み時間は競って外に出て、楽しく遊ぶようになりました。</p>	

2 山元町立坂元小学校	
取組名	「家族の日」生活チェックと親子のふれあい
<p><取組の内容></p> <p>東日本大震災により、仮設住宅での生活を余儀なくされた子どもたちも多いことから、毎月第1日曜日を「家族の日」と定め、用紙の表面で起床時刻、就寝時刻の目標と結果を記す「生活チェック」と、裏面で「親子でチャレンジ」の提案をし、毎月異なるテーマ（子どもが家族の肩たたきをする。親はお礼にマッサージをする）を設定した用紙を配布し、親子でチャレンジした内容とその感想を記入させ、後日発行する手書きの「家族の日だより」で、保護者からの感想や子どもたちの思いを紹介しています。</p> <p><取組の成果></p> <p>毎月の生活を振り返ることにより、早起きの習慣が身に付いてきているほか、家の人に遊んでもらったり関わってもらったりする時間ができたことで、子どもが「自分は大切にされている」という思いにつながり、自尊心を育てることができています。また、他の家族の子育ての様子を知り、家族としてのあり方を考える良いきっかけとなっています。</p>	
3 栗原市立栗駒小学校	
取組名	とびっきりの笑顔で 早寝・早起・朝ごはん
<p><取組の内容></p> <p>長期休業中に全児童が、早寝・早起き・朝ごはんや、テレビゲーム、1日の食事などについて毎日を振り返る「生活表」の取組や、給食委員会が廊下に掲示したり、昼の放送で栄養の話を行ったりしています。また、縦割り活動や休み時間における外遊びの奨励を行っています。</p> <p><取組の成果></p> <p>朝ごはんをきちんと食べることで、朝から具合が悪いという子が少なくなり、学習への取組が良好になったほか、元気に運動する子が多くなりました。また、上学年が下学年のお世話をすることにより、友達を思いやったり、親切にしたりすることの大切さを実感するとともに、自己有用感も高まりました。</p>	
4 蔵王町立永野小学校	
取組名	地域と共に 「食」体験「遊」体験 in Zao
<p><取組の内容></p> <p>蔵王町の特産である「梨」を、「梨の木サポーター」と呼ばれる梨農家の方々の協力を得て年間を通して栽培しているほか、稲刈りや脱穀の体験や、地元のブランド牛の牛舎でのえさやりなどを体験しています。また、異学年集団遊びの時間である「わくわくタイム」を設けて、遊びの中から社会性が育まれるような活動を続けています。</p> <p><取組の成果></p> <p>給食の残食量が減ってきており、体験的に学ぶことで、食の大切さはもちろん、「食」に関わる人々の思いについても学ぶことができています。また、外遊びをする子どもたちが増えるとともに、普段から異学年の集団遊びが目立つようになっています。</p>	
5 柴田町立東船岡小学校	
取組名	東船岡秋祭りを楽しもう
<p><取組の内容></p> <p>地域と学校の共催行事として「東船岡秋祭り」を開催し、児童は各学年で趣向を凝らした様々な催しを行い、大勢参加する地域の方々と、お互いに各ブースを行ったり来たりして遊びを中心とした活動を行っているほか、地域の方々、保護者、児童と一緒に芋煮会の準備をし、校庭でみんな一緒に芋煮を食べながら交流を深めています。また、学校で作った米や大豆を使って、子どもたちが、地域の方の協力を得ながら味噌造りなどを行っています。</p> <p><取組の成果></p> <p>地域と学校の一体感や連携が深まり、子どもたちは毎年、地域の人たちに大切にされているという実感を深めながら成長してきています。また、実践的な活動をとおして、食に対する興味関心をさらに高めることができています。</p>	

6 川崎町立川崎小学校	
取組名	学校・家庭・地域の協働型の取組 「18年かわさきっこ」の活動
<p><取組の内容></p> <p>夏休みにルルブルチャレンジカードを活用し、「はやね・はやおき・朝ごはん」等の基本的な生活習慣の定着を図っています。また、米作り体験や地産産の食材（こんにゃくいも）の栽培・収穫や料理教室を地域の方と共に実施しているほか、町の管理栄養士と食生活改善推進員（ヘルスメイト）と連携し、栽培したサツマイモの収穫やお菓子作りなどに挑戦しています。さらに、5年生は地域の先生と町の資源である森林を題材にした、野外での体験学習を実施しています。</p> <p><取組の成果></p> <p>保護者に「はやね・はやおき・あさごはん」の大切さの理解が進み、子どもたちの生活リズムの改善につながったほか、郷土料理等伝統的な食文化を体験的に学んだことで、地域への愛着心も育まれ、地域のよさの発見や、地産地消の大切さを知る契機となりました。また、野外での体験学習によって、「積極性、協力や思いやりの心が育った」という保護者からの声につながっています。</p>	
7 大和町立吉岡小学校	
取組名	ルルブル運動大好き よしおかつ子
<p><取組の内容></p> <p>PTA総会や授業参観後の全体会、学校評議員会等、職員・保護者などが集まる様々な場で、睡眠時間の確保や朝食の大切さを保護者に呼びかけているほか、大和町の地産産品（米、野菜、まいたけ等）を食材にした給食を提供し、食の大切さを理解させています。また、6年生が1年生のお世話や交流を通して、学校での生活の仕方や遊び方を教えているほか、吉岡小学校児童と大和中学校生徒が、通学ロードであいさつ運動を年8回実施して、心の交流を図っています。</p> <p><取組の成果></p> <p>保護者が、特に寝ル・食ベルに関心をもち始め、児童の就寝時間が一定になり、情緒が安定し生活リズムが向上しました。また、6年生と1年生との交流は小1プロブレムの軽減に、小中合同あいさつ運動は、心の交流と中1ギャップの軽減につながりました。</p>	
8 石巻市立鹿又小学校	
取組名	心豊かで創造性に富んだたくましい児童の育成 ～ かしくく、のびのびとまっすぐ たくましく ～
<p><取組の内容></p> <p>「健康生活カード」を活用し、家庭での学習時間や就寝・起床時刻を毎日記入しているほか、睡眠や食事と体や脳の成長、心の安定について指導しています。また、給食時に放送委員会の児童が、献立紹介や給食センターの方々への感謝の言葉を放送しています。さらに、業間時間に「スポーツタイム」を設定し、なわとび運動や持久走に取り組んでいるほか、異学年での縦割りの活動「なかま」で、運動やあそびをしています。</p> <p><取組の成果></p> <p>一日の生活リズムを目で見ることで、睡眠時間や学習の時間、ゲームの時間を意識し計画的に取り組むようになってきています。また、朝食の欠食がほとんどなくなってきているほか、給食の残食も少なくて、健康な身体や運動（遊び）の大切さが分かり、休み時間には異学年でのサッカーや一輪車で遊ぶ姿が見られます。</p>	
9 栗京市立宮野小学校	
取組名	自分大好き 友達大好き ふるさと大好きな子どもを育てよう
<p><取組の内容></p> <p>長期休業明けには、「早ね・早おき・朝ごはんチェックカード」の記入を呼びかけ、実施しているほか、給食センター職員による栄養指導を実施しています。また、低学年児童が生活科で作ったおもちゃなどで保育園児を遊ばせたり、共に遊んだりしています。学年間の縦割り班による全校長縄跳びや、体を使った遊び集会のほか、運動会や児童会主催のゲーム集会などでも縦割り班で活動しています。</p> <p><取組の成果></p> <p>保護者の意識が高まっているほか、早めの就寝、3食とる、特に朝食をしっかりとる子どもが増え（ほぼ100%）、朝食をしっかりとることで、朝の活動から意欲的に取り組める児童が増えてきています。また、保育所の幼児、保護者、地域住民等とのふれあいの充実や、年間を通した「縦割り遊びでの交流」により、思いやり等が育ってきており、体力向上にもつながっています。</p>	

10 気仙沼市立小原木小学校	
取組名	やさしく かしく たくましく
<p><取組の内容></p> <p>学級活動「おやつのとりにかた」で、担任と養護教諭、代替栄養職員が連携して糖分と脂質についての学習を行ったほか、小原木調理場のランチルームで全校給食を実施し、調理員と交流しながら食事をしました。また、県教育委員会主催のweb 長なわ跳び大会に学級単位、縦割りの班単位で取り組んでいます。</p> <p><取組の成果></p> <p>糖分を多く含むスポーツ飲料などを控えるようになったり、食べる時間や回数を、自分なりに決めておやつをとるようになったほか、感謝して給食を食べようとしたり、苦手な食べ物でも食べてみようとしたりする様子が見られ、給食の残食が少なくなりました。また、他の小学校の記録と比べることで意欲が高まり、休み時間などにも進んで取り組むようになりました。</p>	

11 仙台市立東華中学校	
取組名	健康に関心を持ち、心身ともにたくましく生きていこうとする生徒の育成
<p><取組の内容></p> <p>保健委員会が、「毎月〇のつく日はプチメディアデー」や「プチメディアグランプリ」を実施し、メディア減少の啓蒙活動を行っているほか、毎日給食委員会の生徒が、翌日の栄養素ボードに掲示をしています。また、帰りの会を利用し、運動の苦手な生徒も取り組みやすいよう、自分の机周りでできる簡単なエクササイズを選んで「30秒エクササイズ」として全校で実施しています。</p> <p><取組の成果></p> <p>メディア時間を減らすことで、睡眠時間や学習時間が増えることを実感する生徒が増えたほか、バランスの取れた食事を意識し、給食の残食を減少させています。また、体力に自信のない生徒でも「みんなが頑張りってるので私も頑張りたかった」と、運動への意欲向上につながりました。</p>	

12 仙台市立南小泉中学校	
取組名	健やかな体づくりに進んで取り組む生徒の育成
<p><取組の内容></p> <p>テレビ・ゲーム・ネット・携帯・スマホなどの利用時間を「メディアライフカード（MLC）」に記録させ、家庭での過ごし方を振り返らせています。また、給食に含まれている栄養素を栄養黒板に毎日掲示し、自分の体作りと栄養素について考えさせているほか、体力テストで課題となった投力を向上させるプログラムを作り、昼休み時間に全校で取り組んでいます。</p> <p><取組の成果></p> <p>「1日の中で視覚メディアに接している時間の長さを知って驚いた」など、生徒の姿勢の変化が感じられ、自分の課題として捉えさせることができました。また、栄養バランスのとれた食事を意識することができたほか、多くの生徒が“投げる”動作を確認しながら、意欲的に投力の向上に取り組むことができました。</p> <p>なお、「メディアライフカード（MLC）」を作成した取組をモデルとして、仙台市教育委員会は「メディアチェックカード」を作成し、市内の全学校に配付しました。</p>	

13 気仙沼市立大谷中学校	
取組名	大谷ハチドリ計画
<p><取組の内容></p> <p>大谷ハチドリ計画として、冬水田んぼで米を育て収穫し、調理をして食しているほか、学年ごとにテーマを決めて課題解決学習を行う中で、松の下草刈りやウエの生態調査、たんぽこに生息する水生生物、植物の調査などの様々な体験活動を行っています。</p> <p><取組の成果></p> <p>「日常のご飯を当たり前前に食べていることがどれだけ大切なものか分かった」と、体験を通して実感できたほか、各種調査・発表をとおりして、「環境に対する興味が増し、プレゼンテーション力や発表する力がつき、何事にも率先してできるようになったと思う」といった声が聞かれました。</p> <p>なお、「ハチドリ計画」は、イオン環境財団が主催する「生物多様性日本アワード」で優秀賞（全国から5団体が選ばれる）を受賞しました。</p>	